

# ぼうさい通信

Vol.76



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和6年5月16日発行  
熊本県立湧心館高等学校

## 今月のテーマ 落雷事故の防止について

4月上旬に県立高校のサッカーチーム員が県外遠征先での活動中に落雷に遭い、複数名が病院に搬送されるという大変痛ましい事故が発生しました。今月のぼうさい通信では同様の事故を未然に防ぐための具体的な予防策に焦点を当ててお伝えしたいと思います。

### 【落雷について】

雷とは、雲内にて発生する電気の放出です。雷は場所を選ばずに落ちますが、高い場所に落ちやすいという性質があります。野球場や山頂など、周囲が開けた場所においては、直接人体に雷が落ちる可能性があります。これを「直撃雷」といいます。直撃雷に遭うと、極めて危険であり、多くの場合命に関わります。

また、雷が樹木に落ちた場合、その近くの人に雷が飛び移ることがあります。これを「側撃雷」といい、樹木の下で雨宿りをする際によく発生する事故の原因となります。

遠くで雷の音がしたら、既に危険な状況です。自分のいる場所にいつ落雷してもおかしくないと考えすぐに避難しましょう。

### 【積乱雲が接近した際の特徴】

雷が近づく兆しとしては、以下のようなものがあります

- ・ 真黒な雲が近づいてくる
- ・ 雷の音が聞こえてくる
- ・ 突如として冷たい風が吹き始める



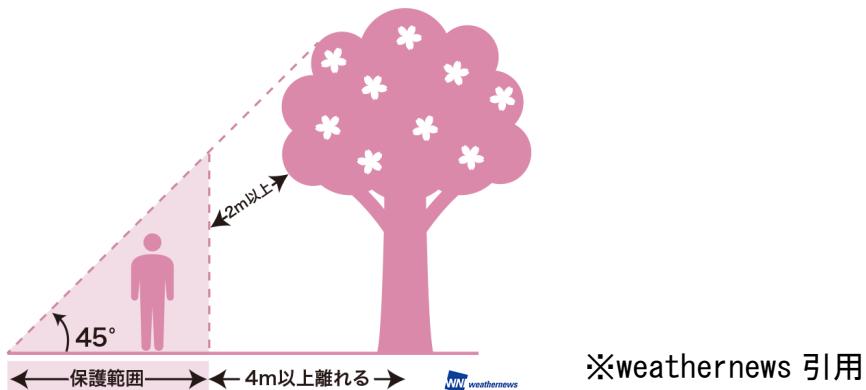
※気象庁引用

## 【避難の際に気をつけること】

積乱雲の接近を感じた際は、直ちに屋外の活動を中止し、安全な場所へと避難することが重要です。屋内にいる場合も、窓から離れ、可能な限り鉄筋コンクリートの建物や車内など、電気を通しにくい場所に留まることが望ましいです。

万一、安全な避難場所へと直ちに移動することが難しい時は、以下のことを心掛けてください

- ・可能な限り低い姿勢をとり、体の接地面をできる限り少なくする
- ・下の図を参考に、高い物や木からは少なくとも四メートル以上の距離を保つようする



※weathernews 引用

## 【落雷に関する情報確認】

日頃から落雷の危険性を認識して天気予報を確認するとともに、雷の注意報・警報の発表状況を事前に入手するよう努めてください。気象庁ホームページにおいて、「雷注意報」の発表状況や、実際にどこで雷発生の可能性が高まっているか地図上で確認できる「雷ナウキャスト」などの情報が掲載されているので、これらの情報を活用してください。

雷ナウキャスト : <https://www.jma.go.jp/bousai/nowc>

QRコード



以上の点を参考に、雷の際にも冷静に対応することを心がけてください。何よりも周囲の状況を目で確認して安全を第一に行動されますよう、お願い申し上げます。

【文責 全日制防災担当】

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)  
本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>  
くまもとマイタイムライン(デジタル版 マイタイムライン)は、  
<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。